

令和5年度 第2回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月28日(月)午後2時00分～午後3時30分
- 2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室3・4号
- 3 内 容
- 議事1 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標(KPI)の達成度検証について
 - 議事2 第4次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標の達成度検証について
 - 議事3 地域再生計画(地方創生推進交付金事業)(令和4年度実施事業)の効果検証について
 - 議事4 地域再生計画(まち・ひと・しごと創生寄附活用事業)(令和4年度実施事業)の効果検証について
 - 報告1 地方創生港整備推進交付金事業の事後評価結果について
- 4 出席者
- <座長>
富田企画政策局長
 - <専門委員>

瀬野 哲郎	岡田 喜行	越智 善一	山崎 昭二
村上 直樹	二宮 隆	吉武美由紀	川田 卓哉
高田 誠也	宇佐美浩子	村上あらし	上村 友希
相原 正樹			

 - <構成員>

健康推進課	村上 能朗	福祉政策課	村上 留実
産業振興課	月原 康博	観光課	尾崎 大輔
地域振興課	鳥生 宏	農林水産課	渡部 誠也
市民参画課	池田 茂	防災危機管理課	大澤 栄一

 - <PT及び事業担当者>

総務調整課	阿部 浩一	未来デジタル課	越智 幸一
スポーツ振興課	長谷部伸太	道路課	片上 勝文
下水道業務課	越智 敬	消防本部総務課	井手 玉記
教育大綱推進課	崎山 憲一		

 - <事務局>
市民が真ん中課 馬越課長、川崎係長、越智主査

日 時 令和5年8月28日（月）14:00～15:30

場 所 市役所 11階 特別会議室3号・4号

事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、ただ今より令和5年度第2回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>事務局を務めさせていただきます市民が真ん中課長の馬越でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、富田企画政策局長からご挨拶申し上げます。</p>
座長	<p>皆様、こんにちは。座長を務めさせていただきます、企画政策局長の富田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」も設置から8年が経過し、8月から新たな任期が始まったところでございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、今治市の人口減少対策・地方創生への取組にご協力をいただきますこと、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日の案件でございますが、「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第4次今治市定住自立圏共生ビジョン」、これら二つの計画において設定しました数値目標の達成度検証となっております。委員の皆さまからの積極的なご意見をいただけたらと思っております。</p> <p>また、前回5月の第1回懇談会にてご意見をいただきました、令和4年度実施の地方創生推進交付金事業の効果検証につきまして、KPI取りまとめの都合により、お諮りできていなかった事業が2件、そしてまち・ひと・しごと創生寄附活用事業について1件ございます。これらにつきましても、併せて専門委員の皆様のご意見をお聞かせ願いたく存じます。</p> <p>加えて、報告案件が1件ございます。</p> <p>なお、本ビジョン懇談会は公開会議とさせていただいております。また会議録におきましても、市の公式ホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。なお、会の途中で傍聴される方が入室する場合もございますので、ご了承いただければと存じます。</p> <p>それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。まずは、本日の議事の進め方について事務局からご説明いたします。</p>

事務局	<p>それでは、ご説明の前に、新たにご就任いただきました専門委員さんがいらっしゃいますので、改めて当懇談会にご参画いただいている専門委員及びオブザーバーの皆様のご紹介をさせていただきます。</p> <p>今治市医師会 事務局長 瀬野 哲郎 様</p> <p>今治市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 岡田 喜行 様</p> <p>今治商工会議所 中小企業振興部 振興課 課長代理 越智 善一 様</p> <p>今治地方観光協会 事務局長 山崎 昭二 様</p> <p>越智今治農業協同組合 営農企画課 課長 村上 直樹 様</p> <p>愛媛県漁業協同組合 今治事業部 部長 二宮 隆 様</p> <p>吉正整形外科 事務長 吉武 美由紀 様</p> <p>瀬戸内運輸株式会社 取締役運輸部長 川田 卓哉 様</p> <p>今治シーエーティービー株式会社 放送部 担当部長 高田 誠也 様</p> <p>今治コミュニティ放送株式会社 企画主任 宇佐美 浩子 様</p> <p>株式会社わか 代表取締役 村上 あらし 様</p> <p>今治明德短期大学 講師 上村 友希 様</p> <p>OK会計 税理士 相原 正樹 様</p> <p>なお、岡山理科大学獣医学部 教授 岡村 泰彦 様は本日、他の業務のため、やむを得ずご欠席となっております。</p>
-----	---

また、日本政策金融公庫新居浜支店様、伊予銀行今治支店様、そして本日はご欠席されておりますが、愛媛銀行今治支店様にオブザーバーとしてご参画いただいております。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日ご審議いただきます議事につきまして、それぞれの趣旨や必要性についてご説明いたします。

本市における人口減少問題の克服と地域課題の解決に向けて、令和2年度に策定いたしました「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」におきましては、施策ごとに、評価指標、KPIを設定しております。また、魅力的な定住圏を形成するために策定いたしました「今治市定住自立圏共生ビジョン」におきましても、施策分野ごとに数値目標を設定しております。

これらの取組をより効果的に進めるためには、各数値目標の達成度により事業の進捗状況を検証し、それを反映させて改善していく仕組みの構築が重要になってまいります。

そして、国からの交付金等の支援についての手続きを適切に進めるためにも、外部専門委員の皆さまからのご意見を頂戴し、しっかりとした効果検証を実施する必要があるとございますので、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

それでは、協議の進め方についてご説明します。

議事1の総合戦略KPIの達成度検証につきましては、お手元の資料1の調書に基づいてご協議いただきます。総合戦略の4つの基本目標ごとに、調書を整理してございます。KPIは全部で50件となりますので、その中から、事業に大きな進捗のあったものや取組の現状をお伝えしたいものなど、分野ごとにいくつか抽出して、ご説明したうえで、委員さんからのご意見をいただければと思います。

議事2の共生ビジョン数値目標の達成度検証につきましても、資料2の調書に基づき、同様の流れで進めさせていただけたらと思います。資料1、資料2とも、KPIを黄色で着色してある項目が、今回ご説明させていただく項目となっております。

議事3の地方創生推進交付金の効果検証につきましては、国の認定を受けた地域再生計画「稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業」及び「デジタル人材の教育・育成・誘致と

	<p>産業のDXによる本県産業の稼ぐ力強化プロジェクト」について、令和4年度に地方創生推進交付金を活用して実施した事業を、資料3、5の効果検証調書に基づいて、KPIの状況と、実施した具体的事業の概要等について担当課からご説明申し上げ、そのあと、ご意見をいただくという流れで進めさせていただければと思います。</p> <p>議事4のまち・ひと・しごと創生寄附活用事業の効果検証につきましては、国の認定を受けた地域再生計画「まち・ひと・しごと創生推進計画」について、令和4年度に企業版ふるさと納税の制度を活用して実施した事業を、資料7の効果検証調書に基づいて、ご説明申し上げ、そのあと、ご意見をいただくという流れで進めさせていただければと思います。</p> <p>最後に、報告案件の「地方創生港整備推進交付金事業」の事後評価につきましては、国の認定を受けた地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」について、先日愛媛県、上島町、今治市の3者による事後評価がありましたので、令和3年度までの計画期間に実施した事業を、資料10の事後評価調書に基づいて、KPIの状況と、実施した具体的事業の概要等についてご報告申し上げます。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。積極的なご発言を何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
座長	<p>本日の議事の進行について、なにかご質問等ございませんか。 (質問等なし)</p> <p>それでは、議事1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPIの達成度検証」につきまして、資料1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標評価調書」をご覧ください。</p> <p>まず、基本目標について、事務局よりご説明させていただき、その後、それぞれの基本目標に係る具体的取組について、ご説明させていただきます。</p> <p>その後、委員さんからご意見をいただければと思います。</p> <p>それではまず始めに、1つ目の基本目標「だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る」について、事務局からご説明いたします。</p>

事務局	<p>それではご説明いたします。</p> <p>1つ目の基本目標は「いまばりに安定した雇用を創出する」という方向性に基づいた目標でございます。本市の基幹産業であります造船やタオルをはじめとした多彩な産業の振興により新たな雇用を創出し、流出が続く若年層の今治回帰を目指し、定住人口の拡大に繋がる施策に取り組んでいるところでございます。</p> <p>それでは、調書の2ページ目、通し番号10番、具体的施策の「(ウ) 食品やエネルギー等地域産業とともに成長するまちづくり」「③農林水産業の競争力強化」について、ご説明いたします。</p>
事務局	<p>市民が真ん中課の川崎と申します。それでは、私からご説明させていただきます。</p> <p>農林水産業の競争力強化については、「今治市食と農のまちづくり条例」に基づき、地産地消の推進、食育の推進、有機農業の振興を図り、農林水産物の商品化やブランド化、販売拡大を支援するとともに、経営基盤の強化を図ることを目的にしています。</p> <p>重要業績評価指標（KPI）は、令和元年の有機農産物の生産額49,293千円を令和7年には64,293千円となるように設定しております。</p> <p>昨年度は、環境保全型農業直接支援事業による取組支援、有機農業で新規就農を予定している研修生を受入れた先駆的有機農家に対して、その研修受入に係る経費の支援を行いました。</p> <p>しかしながら、肝心の有機農産物の生産額のデータにつきましては、これまで有機農家へのアンケートによって把握してきましたが、個人情報保護の観点から回答数等が年度によってまちまちであり、経年の比較ができるようなものではないとの判断から令和4年度からアンケート自体を取りやめているため、今回は実績値なしとなっております。</p> <p>今後は、指標の変更も含めて検討してまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p>
A委員	<p>農協の方は慣行栽培ということでやっていますが、有機栽培、直接何かやっているわけではないのですが、有機の条件、有</p>

	<p>機とはなにかと言うと、まず農薬を使わない、化学肥料を使わないといういろいろあると思うので条件的には厳しいかと思うのですが、この期間の伸び率を考えると、なかなか厳しい数字かなと思うのですが、有機栽培されている方は増えていっていますか。</p>
渡部構成員	<p>農林水産課の渡部です。お答えします。</p> <p>有機農家が増えているかどうかということですが、減ってはいませんが、そんなに増えてはいないというのが現状であります。横ばいという形です。ただ、高齢化等で辞めていかれる方もいる中、今しまなみ海道3島、特に大三島の上浦地区の方に、移住定住者ということで、関東、関西圏の方から移住してきた方の中に、一定数農業で食べていこうと言われる方がいます。</p> <p>その中の結構高い割合で、その方たちは有機農業もしくは、自然農法をやってみようという方たちが結構の確率でいらっしゃいますので、そういった方々が、今後有機農業を支えていく一つになろうかと思っております。</p>
B委員	<p>有機農業は、今治では何を作っているのですか。また、有機でやると利益は上がるのですか。</p>
渡部構成員	<p>少数多品種作られています。</p> <p>もちろんお米もありますし、一般的な葉物、根菜、それと特徴的なのは、柑橘なんか有機でやっている方がいらっしゃいます。</p> <p>利益についてはっきりとしたところはわかりませんが、一般的には有機農産物とか自然農法でつくったものは、自分で販路を開拓して、関東関西のレストランですとかと直接やりとりをして、売り込んでいたりネット販売したりするケースが多いです。その場合、一般的なスーパーで買う単価よりは2倍もしくは3倍とかそういった価格で取引が行われておりますけれども、経費もいろいろかかっておりますので、儲かるかという、それは一概には言えないかなと思います。</p>
B委員	<p>これに対して県、国の補助というのはいくら出ておりますか。</p>
渡部構成員	<p>一応制度自体はありますけれども、有機農家自体がそれほど増えていないというところがありますので、今、今治市の方も、国の有機農業の環境保全型農業の直接払いという国の補助金を活用しておりますけれども、それ以外は新たに、一般の農業、いわゆる慣行農業から、有機農業に転換しようと言われる方はほぼいない状況になります。</p>

B委員	<p>今後、国・県・今治市もそうなのですが、有機農業というのを促進していくつもりなのですか、それともそれぞれの人に任せますよということですか。</p>
渡部構成員	<p>一昨年、農林水産省が出しました、緑の食料システム戦略においては、2050年までに、有機農業の耕作面積の割合を25%にするというような目標が示されています。</p> <p>今、全国で0.5から0.6%を2050年に25%にするということで、有機農家の方さえもちょっと懐疑的な、ちょっと壮大すぎる目標値を国は示しておりますけれど、国はそちらの方に向かって、これからやっていくという方向性であります。</p>
B委員	<p>今すぐ儲からないということであれば、国がそれに対して補助をするなり、市も県もそういうものに対して補助をしていくという部分があるのかどうか。25%まで持っていくのは大変なことだと思います。</p> <p>東温の方でも1キロが1,500円とか1,800円の米が売っていたけど、30キロで5万円ぐらいのもの、そういうふうなものを買うのかどうか。そこら辺が儲かるかどうか。採算が合うのかどうか、とにかく採算がとれないと人は作りませんから。</p> <p>今後促進するのであればそこら辺の補助金というのもいろいろしていかなければならないと思います。</p>
C委員	<p>ホテルとレストランをやっているのですが、有機野菜ってすごく売りやすい、高単価で、幾ら高く仕入れても、幾らでも高くして売れるみたいなのがあります、特に世の中のトレンドが、薄利多売よりはちょっと富裕層向けみたいなマーケットのビジネスをする場合は、食の安全とかSDGsとかをアピールしていますというふうに説明を添えることで、コンバージョンだったり、より売れるっていうふうな話が、自分は元々あまりそういう感覚がなかったのですが、ヨーロッパ人のお客さんを迎えることが多かったでするので、オーガニックって一言言っても喜んでくれます。</p> <p>柑橘体験、柑橘採ってそのまま食べられるみたいなのをやった時に、これワックス塗ってあるのだったら拭いたほうがいいかなとかいろいろ聞かれたり、いや何もやってないですよってやるとこんなにとかっていう部分もあるので、やっぱり単価はすごく高くいけると思います。</p> <p>おっしゃる通り、直販ばかりなので売り上げは把握できないと</p>

	<p>思うんです。だから就業人数とかを KPI にしたらいいのかなと思いました。</p> <p>ただ、たまに手伝うことがあるんですけど、やはり大変です。農薬と一言で言っても、安全な農薬って結構多く、これ使ったらいいんじゃないですかって言ったら、いや、これ使ってしまったら有機って言えんのかな。そうなんですね、大変ですねみたいな感じでもうめっちゃ大変そうなんです。</p> <p>でも、レストランにするとすごく売りやすい。</p> <p>品目も確かに本当に、花オクラとか、1日しか持たないやつ。</p> <p>他にもいっぱいあるんですけど、サラダの中にそれが入れることによってお客様との会話がすごい増えるんですね、「何これ?」「いや実は…」みたいな感じで、これこれこうやってこだわってやってますみたいなやりとりがあるんですけども、そういうストーリーが提供できるので、付加価値払っても元が取れるなと思ったりするので。</p> <p>トレンドとしては今より有機野菜が増えるとかいう業者としてはありがたいな、やっぱりまだ数が少ないので。</p> <p>有機やってくださる方何人かいらっしやるんですけど、それでも、選択肢が少なく、増えるといいなと思います。</p> <p>ただ、やる人大変ですし若いご夫婦じゃないとしんどいかなと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。その他何かございませんでしょうか。</p> <p>そうしましたら、この議題につきましては、ここまでとさせていただきます。</p> <p>次に、2つ目の基本目標「未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>2つ目の基本目標は「若い世代の出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」という方向性に基づいた目標でございます。若い世代が安心して働き、希望通りに結婚し、出産・子育てができるような社会環境の実現に向け、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備を目的とする「第2期今治市こども・子育て支援事業計画」を策定し、令和5年3月に中間見直しを行い、各種取組を進めているところです。</p> <p>それでは、調書の4ページ目、通し番号22番、具体的施策の「(ウ) 未来を創る、生きる力を育む教育」「②次代を担う子どもの「生きる力」を育む教育」について、ご説明いたします。</p>

事務局	<p>次代を担う子どもの「生きる力」を育む教育につきましては、グローバル化が進む社会において、新たな時代を切り拓くとともに、豊かな教養や論理的思考力、他国の人々とも協働するための英語等の語学力やコミュニケーション力、異文化への理解、国際社会に生きるために必要なアイデンティティーの育成を図る教育を推進することとしております。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による学校教育活動の制限等が緩和される中で、地域と連携した活動が増加したこと、さらに、全学校が学校運営協議会において、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用できるよう協議を進めてきた結果、重要業績評価指標（KPI）は、小学校・中学校ともに前年の約36%から目標値の60%を大幅に超えることができました。</p> <p>今後につきましては、ふるさとキャリア教育のカリキュラム編成を行い、令和4年度に先行実施、令和5年度から全面実施するとともに、コミュニティ・スクールの導入により、保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携強化を進めたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p>
B委員	<p>この教育の中で不登校の問題なんですが、今不登校っていうのはどれぐらいいらっしゃるんですか、小学校とか中学校。</p>
教育大綱推進課 崎山課長補佐	<p>具体的な資料を持ち合わせてなくて申し訳ございませんけれども、不登校の子どもは現実的にいる状況でございますが、各校で、それぞれ段階を踏んで、対応を行っております。</p> <p>いろいろな状況がありますので、まず学校に来れる、その中で、校長室まで来れる子ども。例えば学校で勉強するというよりもまず保健室に行ける子ども、そして学校の子供の中でも、例えば校長室の中で亀に餌をやりに来る、そういう目的を作っておくことで、だんだん学校に来やすくなるというような。</p> <p>あとサポートルームとか今、各学校設けているんですけども、各学校の方で、だんだん通っていけるような子ども、不登校の、コスモスの家という施設を設けているんですけども、その中で段階踏んで、支援を行っているのが状況でございます。</p>
B委員	<p>考え方も難しいかもわかりませんが、私がお聞きしたいの</p>

	<p>は、不登校に関する考え方というか、基本的な学校の姿勢というか、不登校というものに関してどういうふう考えられているか、不登校に関する哲学というか、教育委員会の学校教育の方ではありますか。</p>
<p>教育大綱推進課 崎山課長補佐</p>	<p>この問題に関しては、各個別の子どもに対応していくことが肝要かなと思っております。</p> <p>その中で、先ほど言ったように、段階踏んでどこまでできるか、そしてそれに関して、学校の教室まで来れない子どももおりますので、そういった形でいって、学校までっていう、無理強いしない形でそういったいろんなケース、子どもに応じてオーダーメイドでやっていくという部分が必要な部分だと思います。</p> <p>別途学校まで来れない子どもについてはコスモスの家とかそういった形で関わりを持っている。</p> <p>当然社会の関わりとか、出来るだけ関わりを持てるような状況を作っていくということが肝要かなと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>今の学校に対する考え方とか教育に対する考え方っていうのは、私たちのときと大分違ってきている部分もあるので、どういうふうな考え方で、学校というのをやっていくのかなというのが聞きたいと思って質問させていただきました。</p> <p>不登校というのは、学校に行かなくてもいいということなのか、いやいや学校に行かなければいけないということなのか、そんなところをこの頃見ておるとあるので、こういう数値を高めていくためには、やはりそういうふうなものが基本的には、必要なんだろうかなというふうに思いました、お聞きしました。</p>
<p>教育大綱推進課 崎山課長補佐</p>	<p>非常に参考になります。ありがとうございます。</p>
<p>座長</p>	<p>原因も様々でありますので、それを一気に解決していくっていうのは難しいと思います。</p> <p>ただ、学校に来てコミュニケーション能力を育んでもらいたっていうのは学校側の気持ちはあるので、出てきては欲しいんですけど、無理に引っ張ってくると子どもも学校の中で、例えば、いじめにあって来なくなったとか家庭に問題があって来なくなったとか、様々な問題は多分皆さん抱えているので、その部分は、強制的に引っ張ってくるっていう話にはなっていないところで、子どものあくまで自主性を重んじるっていうところの部分で、教育委員会も一生懸命取り組んでいるところだと思います。</p>

D委員	<p>この件に関してちょっと専門外のところもあるんですけど、先ほど不登校の話出ましたけど、これに関して言えば、ヤングケアラーのことも関わってくるのかなと思います。</p> <p>次代を担う子どもの「生きる力」を育むっていうところで、きちんとした教育を受けるべき年齢のときにご家庭の事情で受けられないっていうようなところを考えていかなければ、心のことにも関わってくるところなのかなというふうに思いました。</p>
座長	<p>他にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>特にないようですので、次に3つ目の基本目標「だれもが訪れたいと感じる魅力あるふるさとを創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>3つ目の基本目標は「いまばりへ新しいひとの流れを創る」という方向性に基づいた目標でございます。交流人口の拡大は重要な課題として捉えており、観光入込客数の拡大や移住・定住促進を図る施策に取り組んでいるところです。</p> <p>引き続き、交流人口や移住定住の拡大に向け、様々な地域資源を活用した、まちづくりにつながる取組を推進していきたいと考えております。</p> <p>なお、基本目標3について事業のピックアップはありません。</p>
座長	<p>ありがとうございました。最後に4つ目の基本目標「中心部と周辺部が連携した日本でいちばん住みたい地域を創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>4つ目の基本目標は「好循環を支える、ふるさとを活性化する」という方向性に基づいた目標でございます。「しごと」と「ひと」と「交流」の好循環を支えるために、「まち」の基盤づくりに取り組んでおります。</p> <p>過疎化高齢化がますます進み、解決すべき地域課題はまだまだございますが、誰もが住み続けたい・住んでみたいと思える、魅力的なまちづくりを推進してまいります。</p> <p>それでは、調書の9ページ目、通し番号49番、具体的施策の「(イ) 島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり」「③官民連携・未来技術の活用による地域課題の解決」について、ご説明いたします。</p>
事務局	<p>官民連携・未来技術の活用による地域課題の解決につきましては、地域課題の解決や地域活性化を推進するため、民間企業等と連携を図り、双方が持つ資源を有効活用した活動に取り組むこと</p>

	<p>としております。</p> <p>先端技術を活用した社会課題の解決等を促進するため、「自動運転」「ドローン」「AI・IoT」分野の実証実験について、国家戦略特区を活用して、令和3年4月に近未来技術実証ワンストップセンターを設置し、チラシの配布や、企業セミナー、ドローンを対象にした展示会・シンポジウムでの周知も行い、こうした積極的な周知は相談件数の増加に寄与したものと考えております。</p> <p>今後は、ワンストップセンターの周知の継続に加え、「自動運転」「ドローン」「AI・IoT」等を対象にした展示、体験会を行うことで更なる認知度の向上をはかるとともにプロジェクト補助金をPRすることにより、今治市を実証フィールドに使ってもらえるよう働きかけてまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
事務局	<p>「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPIの達成度検証」についてのご説明は以上となります。</p> <p>この達成度検証の結果を踏まえ、第2期の総合戦略に反映すべき部分は必要に応じ改訂を行うなどしてまいりたいと考えております。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で、資料1の説明が全て終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p>
C委員	<p>ドローンは、どのジャンルの使い方、いわゆる物を運ぶとか、農薬を散布するものなどがあると思うんですけど、主に組み込まれているのはどちらの使い方になりますでしょうか。</p>
事務局	<p>ドローンにつきましては、今回のテーマとしましては近未来実証ですのでドローン業者さんの方から今治市をフィールドとしてこういうことをちょっとやってみたいとか、ご相談は多々あります。</p> <p>実際ドローンが実装されているケースとしては、やはり農業分野で実装されるケースが多いと思いますが、今治市に、もしできればこんなことやってみたいんですけどっていうような相談は、物流でできないかという相談が一番多いです。</p> <p>ただ実証実験にまでは至ってはないんですけど、相談としてはやはり物流、配送、農薬、農業で使えないかというような相談が1番多いです。</p>
座長	<p>そうでしたら、次の議事に移らせていただきます。</p> <p>会次第にございますとおおり、「第4次今治市定住自立圏共生ビ</p>

	<p>ジョン基本目標及び成果指標の達成度検証について」です。</p> <p>資料2「第4次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標評価調書」をご覧ください。</p> <p>3枚の調書の中から3件、ご説明させていただき、その後委員さんからのご意見をいただければと思います。</p> <p>ではまず初めに、調書1枚目をお開きください。通し番号9、「C 教育」「生涯学習機能を充実させる図書情報のネットワーク化」について、事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>ご案内のとおり、圏域の図書館は4館（中央・波方・大西・大三島図書館）で、蔵書数は約704,000冊となっています。</p> <p>インターネットで予約することで公民館図書室から貸出できるネットワーク化を目指し、物流システムの構築等と併せて、圏域住民の生涯学習機能の充実を図ってまいります。</p> <p>これまで、窓口案内、図書館HP、利用者アンケートの設問等を通じ、図書館資料の利用についてインターネットから予約できることの広報を継続的に実施してまいりました。図書館HPの閲覧件数もコロナ禍を境に若干ながら増加傾向が見受けられ、加えて令和4年10月にインターネット予約可能な対象を、貸出中図書のみへの予約から、貸出可能資料を含む予約方式に転換したことから、利用者の行動に直接的な来館ばかりではなく、デジタル媒体を活用した非来館型での図書館情報の利用への需要の高まりが数値目標20,000件に対して実績値27,595件（達成度138%）となった要因として考えております。</p> <p>今後につきましては、令和5年度中に島しょ部支所等の窓口での予約資料の受け取りポイントの設定を目指し、非来館型の図書利用の需要を喚起することとしております。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは次に同じく調書2枚目、通し番号17、「D 産業振興」「E 多彩な地勢を活かした農産物のブランド化」について、事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>圏域の農家数は、平成12年と令和2年とを比較すると、全体で48%減少しており、特に、島しょ部地域では50%以上と、大幅な減少が見られます。また、農業就業者は、平成12年と令和2年を比較すると、全体で68%減少しており、特に、今治・吉海・宮窪地域で、70%以上の大幅な減少が見られます。</p> <p>島しょ部や山間部を含めた多彩な地勢を有するものの、大規模</p>

	<p>農業経営が難しい圏域において、安定した持続的農業経営を可能とするため、地元農産物のブランド化を積極的に推進し経営基盤を強化するとともに、農業が若者の職業選択肢の一つとして認知されるような魅力ある農の実現を目指しています。</p> <p>昨今の移住者の増加に伴い、また、農業に興味を持つ方が一定数おり、新規就農者の確保に繋がったと考えております。</p> <p>また、JA等と共同で、関西圏、首都圏、県内での就農相談会（会場面談、新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン開催等）を実施した結果、5か年で30人の新規就農者の目標に対し、2か年で13人と目標を上回る成果が出ています。</p> <p>今後は、県普及組織、JA等と連携し、就農相談、経営計画の策定支援、指導員による農業技術等の普及を進め、新規で就農できる環境の整備を実施していきたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。最後に調書3枚目、通し番号42「B 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保」について、事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>地域活動を牽引できる人材・組織の育成や過疎・高齢化等の地域課題の解決に向け、「地域おこし協力隊」等の外部人材を継続的に活用し、新たな地域社会の担い手確保策として、これらの人材の定住につながる施策を検討、展開することとしています。</p> <p>令和4年度については、えひめの未来チャレンジ支援事業の活用等により、退任後の起業定住のサポートを実施し、4名中4名の定住につなげることができました。</p> <p>なお、これまで令和4年度末時点で延べ62人の隊員が着任し、47人が退任しておりますが、そのうち36人が今治へ定住しており、定住率は76.5%と全国平均の約65%を上回っております。</p> <p>今後につきましては、各種補助制度の活用等と併せて、現隊員の任期中から退任後を見据えた起業定住のサポートを積極的に進めることで、定住率の向上を図ってまいりたいと考えております。</p>

	以上でございます。
座長	ありがとうございました。以上で、資料2の説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。
E委員	こちらの本部になるんですけども、担い手対策事業、担い手対策の事務局も開催しておりますので、そういったことにつきまして全国的に募集はかけておるようですけども、なかなか今治の方というよりも、南予の養殖業者さんの方で、人の方は募集をたくさんかけているようではあります。
F委員	感想なんですけれども、農業従事者が随分減っているということにびっくりしました。 地域おこし協力隊の方の定住率が高いっていうのは、やっぱりこの地域の魅力を発信する上でも非常にいい材料になるのではないかなと思います。 あと余談ですけど、この評価指数の図書館とかこれ、今すごく注目をされていて、いろんな機能をくっつけているところもあると思うんですけど、例えば市民活動を育てる場になっているところなんかもあったりして今回はインターネット予約件数ということでの資料なんですけども、今後何か図書館の何か新しい仕事があって、もう少し機能が広がっていくといいかなと思います。
G委員	今おっしゃったように、地域おこし協力隊の方々にタイミングで今治に留まってくくださるっていうのは本当にありがたいことだと思います。 以前から今治というところは、とても気候が温暖で、自然災害が少なく、とても恵まれたところだというふうに思っております。 私は今治出身ではないので、そのことが非常にありがたいことだと思うんですが、こちらに住まわれている方は、それが当たり前、これが普通なので、あえてそれを今までのアピールポイントとして皆様に訴えるっていうことがちょっと少ないように思うんですね。 ですから移住したい、移住してそこに定住したいっていうふうに思うことの、大きな要因は、そこが非常に住みやすいところというのがあると。 そこをもう一つ踏み込んで、具体的にアピールなさったら、いいんじゃないかなと思いました。
座長	ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。

	<p>それでは、次の議事へと進めさせていただきます。</p> <p>議事3 地域再生計画（地方創生推進交付金事業）（令和4年度実施事業）の効果検証についてでございます。</p> <p>資料3 効果検証調書（稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業）をご覧ください。</p> <p>それでは、調書の内容に沿って、担当課よりご説明します。</p>
<p>スポーツ振興課 （長谷部課長補佐）</p>	<p>スポーツ振興課から説明いたします。</p> <p>本事業につきましては、地域再生計画を愛媛県下の全市町共同で認定を受けたもので、愛媛県の実行委員会が県内各市町で開催するスポーツや文化による地域活性化事業に対して、各市町が負担金を拠出することで事業を実施するものです。</p> <p>このようなことから、KPIの達成度につきましては、評価事業実施主体事務局であります愛媛県から提供のあった、愛媛県全体での数値や分析をもとにご説明させていただきます。</p> <p>まず、目標1「社会減の縮小数」は、達成度が△175%となり、単年度の目標数値を下回っております。</p> <p>目標2「県外からの移住者数」は、達成度が536.2%となり、単年度の目標数値を大幅に上回り、過去最多となりました。</p> <p>目標3「観光入込客数」は、達成度が915.9%となり、単年度の目標数値を大幅に上回っております。</p> <p>目標4「観光消費額」は、達成度が603.2%となり、単年度の目標数値を大幅に上回っております。</p> <p>なお、それぞれの要因について分析に記載のとおりです。</p> <p>続いて、令和4年度今治市を会場とした事業実績と効果については、5月21日に今治市営球場で、「第28回セノン全国少年少女野球教室」を開催、プロ野球選手OB6名による、市内の小学生および関係者約150名を招いての野球教室を実施しました。</p> <p>本事業につきましては、当初2020年（令和2年）度で終了予定でありましたが、コロナ禍により誘致してきた大会や、予定していた多くの事業を実施することができませんでした。そこで、これまで上げてきた成果を定着させるために、事業計画を2年間延長し、野球を切り口とした地域振興イベントの実施、スポーツイベント開催支援に係る対象の拡大、プロスポーツを活用した地域の賑わいづくり等を実施することとなり、7月27日に坊っちゃんスタジアムで実施されたマイナビオールスターゲームの物心両面にわたる協力をはじめ、前述の少年少女野球教室の開催やその他スポーツの大会、教室の実施、補助、啓発等を行ってまいりました。</p> <p>今後も引き続き、本事業の骨子を踏襲し、愛媛県と協力しながらスポーツ立県えひめの実現に向けた取り組みを推進してまいります。</p>

	<p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で、「稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業」についての説明が終わりました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p>
H委員	<p>我々今関心がありますが地元のF C今治、サッカーでありまして、里山スタジアムも出来て、サポーターも増えたということなんですけれども、バスのお客様には、そのまま繋がってはないところがあります。</p> <p>実際、試合の前にイベントが、例えば芸能人が来た時はバスのお客様も増えますけれども、そうでないときは、もう少しバスを使ってサッカーをご覧いただけるような環境がもっと進めばと思っております。</p>
I委員	<p>野球のことですけれども、一時的な大会とかで人が多くなるところもあると思うんですけど、先ほど言われたようにサッカー観戦のように、日頃から見てくれる人が多くなるような事業を進めていくことができたらいいのではないかなと思います。</p>
座長	<p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>本日いただいたご意見は、評価調書の「外部有識者による評価」欄に記載させていただきます。「今後の方針、改善点など」欄に「(いただいた意見)」を追記(修正)させていただきます。</p> <p>それでは続きまして、資料5 地域再生計画評価調書「デジタル人材の教育・育成・誘致と産業のDXによる本県産業の稼ぐ力強化プロジェクト」について、担当課よりご説明します。</p>
未来デジタル課 (越智係長)	<p>未来デジタル課から説明いたします。</p> <p>本事業につきましては、地域再生計画を愛媛県下の全市町共同で認定を受けたもので、各市町が負担金を拠出することで事業実施するものです。</p> <p>このため、KPIの達成度につきましては、評価事業実施主体である愛媛県から提供のあった、愛媛県全体での数値や分析をもとにご報告させていただきます。</p> <p>まず、目標1「本事業を通じたデジタル人材の教育・育成・誘致者数」は、達成度が達成度が75.7%であり、目標数値を下回っております。</p>

目標2「本事業を通じたデジタル人材の移住者数」は達成度が46.7%となり、単年度の目標数値の半分以下の達成度となっております。

本市として負担金を拠出した事業内容は大きく二つございます。

一つは愛媛県と全市町が共同で開催しましたDX会議という運営体を設置し、各自治体の人的・財政的負担を抑えながら、質の高いDXを広域的に実現することを目指し、「県・市町DX推進支援専門官の配置」を行ったものでございます。これが、高度人材シェアリング事業でございます。内容としましては、5つのデジタル分野、1つ目がデザイン・UI・UX、2つ目がシステム・セキュリティ、3つ目がデータ利活用、4つ目が官民連携、5つ目が広報・マーケティングの5分野において、自治体職員等を対象に、実績及び知見を有する者を配置し、個別案件に対する相談、助言、仕様書作成支援が受けられる環境整備、そして職員への研修を行いました。令和5年度についても継続実施し、職員の知識向上や政策立案の精度向上のため活用する者でございます。

特に、今治市としては広報分野、アイアイ今治を中心としたシティプロモーション、観光分野などで個別相談を実施し、事業展開におけるアドバイスをいただきました。

二つ目は、郵便局へスマホ相談窓口を設置したデジタルデバイス対策事業でございます。

この事業は、県内100か所の郵便局へスマホ相談窓口を設置し、予約制による個別相談体制を構築したものでございます。

今治市内におきましては、令和4年8月以降、市内12か所の郵便局にタブレット端末によるオンライン窓口を設置し相談体制を構築しました。相談を受ける人員、機材は楽天モバイルによって整備したものでございます。

今治市としても、市広報や各支所だよりを通じて、市民に広報したところ、下半期の相談件数は大きく伸び、市内のデジタルデバイス解消に貢献したものと考えております。

今年度、令和5年度は設置個所について3か所を支所に変更しつつ、設置件数を維持しつつ継続実施して、さらなるデジタルデバイス解消に取り組んでまいります。

	以上でございます。
座長	<p>ありがとうございました。以上で、「デジタル人材の教育・育成・誘致と産業のDXによる本県産業の稼ぐ力強化プロジェクト」についての説明が終わりました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p>
C委員	<p>とてもわかりやすい発表で、ありがとうございます。</p> <p>ちょっと質問ですけども。令和4年度の実績値+1136人は、デジタル人材の教育・育成・誘致者数というのは、具体的にはどういう生徒さんの数とかになりますか、あと、内容等はどんなジャンルになりますでしょうか。</p>
未来デジタル課 (越智係長)	積算につきまして、内訳は今把握してございません。
C委員	<p>大丈夫です。</p> <p>目標2も移住してきた方14名様いらっしゃると思うんですけども、こちらの方々は何となくデジタルの中でもどの分野が多いとかってわかりますでしょうか。</p>
未来デジタル課 (越智係長)	<p>県内全体の数字で、県から提供を受けており、今治市においているところが、具体的にどなたについているのかわかっておりません。</p> <p>ただ、恐らくですけども、仕事を持たれて、副業というか兼業をされながら、例えば農業とリモートでの仕事についている方が、増えつつあるのかなというのは、県内全体での感触です。</p>
C委員	<p>そうですね、すいません県全体の数字ですね。ありがとうございました。</p> <p>デジタルデバイドのところ、別に年齢にかかわらず、スマホってすごく難しいもんだと思います。</p> <p>例えば詐欺とかあつたりしますし、これは素晴らしい対策かなとおもうんですけども、これは楽天モバイルのその何かの活動を活用した授業というか、そういった活動になりますか。</p> <p>他のドコモとかの持っている高齢者の方は、そういうわからないことを相談したりとかできなかつたりするのでしょうか。</p>
未来デジタル課 (越智係長)	今回楽天モバイルさんが担当されたのは、相談窓口の、ハード整備、それから相談員の確保というところでして、使用されている端末については問いません。

	<p>まず、そのデジタルデバインド対策が必要になっている経緯としましては、3G携帯、いわゆるガラケーが、ドコモで2026年に全てのサービスを停止するというところをターゲットにしてございます。</p> <p>ですので、早期にガラケーの皆さんが、デジタルな情報を取得できる環境の知識を身につけていただこうというところで、今治市としても取り組んでいるところでございます。</p>
F委員	<p>デジタル人材の移住者数っていうのが県域で14人ということなんですけど、私のイメージでは、結構そういう人たちって2拠点居住みたいな、半分向こう半分こっちみたいな、そういうタイプの方もいらっしゃるのかなと思って、移住っていうのは完全にこちらにっていうことでのカウントであって、そういった2拠点だったりとか、来たり帰ったりみたいな交流人口としてカウントできるような人はもう少し多いイメージですか。わかる範囲で。</p> <p>結構、実際デジタル人材が移住してくれたり交流人口として増えてくれるっていうのは期待するところなんですけれども。</p>
未来デジタル課 (越智係長)	<p>恐らくおっしゃっていらっしゃるのが、2拠点であったり、いろんな仕事をしながら、各所を動かれるような、いわゆるデジタルアドレスホッパーと言われる方のことだとは思いますが、基本的にはその住民票を移された方、拠点を県内に持たれたかたの方ということで、例えば、ほとんどこちらにいらして、仕事があれば都会に行くとか、そういうことは、実際にあるかと思えます。</p>
F委員	<p>感触としては、もう少し人が来てるイメージなんですか。</p>
未来デジタル課 (越智係長)	<p>出入りという意味ではもっと多いと思っています。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日いただいたご意見は、評価調書の「外部有識者による評価」欄に記載させていただきます。</p> <p>それでは、次の議事へと進めさせていただきます。</p> <p>議事4 地域再生計画（まち・ひと・しごと創生寄附活用事業）（令和4年度実施事業）の効果検証についてでございます。資料7から資料9をご覧ください。</p> <p>それでは、調書の内容に沿って、事務局よりご説明します。</p>

事務局

資料9をご覧ください。

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付を行った場合に、法人関係税から税額控除する制度です。

今治市が国の認定を受けたプロジェクトが、資料8の地域再生計画「今治市まち・ひと・しごと創生推進計画」に記載の事業となっておりまして、計画には、第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業が転記の形で記載されております。言い換えれば、基本的には総合戦略に記載された地方創生事業すべてが寄附の対象ということになります。

資料7の別紙をご覧ください。

令和4年度の寄附実績ですが、15社から合計178,400千円のご寄附をいただきました。

資料7にお戻りいただいて、2ページ目、いただいた寄附金を活用して、FC今治サッカー専用スタジアム建設プロジェクトほか3件の事業を実施いたしました。寄附活用事業の選定は、寄附企業が指定された事業となっています。

FC今治の今治里山スタジアムにつきましては、この寄附金も活用しながら、令和5年1月に完成いたしました。このほか、今治市のスポーツ振興事業として、スタジアムオープニングイベント及びスポーツトラクター購入に活用させていただきました。なお、今治里山スタジアムにつきましては、今後の増設や拡張などにも対応するため、引き続き寄附募集を継続しております。

このほか、都市防災推進事業、観光振興事業、今治ブランド推進事業にも活用させていただき、今治ブランド推進事業については、令和3年度庁内プロジェクトチームが取材・編集した冊子『今治ワクワクミリョク100名鑑』が大好評につき当初の1万冊を全て配布終了したため、1万部の増刷費用の一部に充当させていただきました。

資料7、1ページ目のKPIにつきましては、先ほどの議事の総合戦略のKPI検証でご説明しましたとおりでございますので、省

	<p>略させていただきます。</p> <p>総合戦略に記載した事業を、企業版ふるさと納税も活用させていただきながら着実に推進してまいりたいと考えております。</p> <p>事業効果につきましては、企業版ふるさと納税を活用した事業について周知するとともに、市外企業からの寄附につなげることができたと考えております。</p> <p>今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討するとともに、広く周知していくこととしております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」についての説明が終わりました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p>
<p>J委員</p>	<p>今治ブランド推進事業の中で、今治魅力ワクワク 100名鑑が大好評で、私も見させていただきました。1万冊の配布を終えて、さらに1万部を増刷をするということですが、これも、例えばデジタル化とかスマホですぐ見れる、そういったことは、今後お考えになられてるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日、i. i. imabari!推進課の担当者が出席しておりませんので、市民が真ん中課が把握している範囲でお答えさせていただきます。</p> <p>デジタル化について、サイトの名称は今思い出せないんですけども、今治のいろんなフリーペーパーだったり、広報誌に掲載しているサイトがありまして、そちらの方で閲覧ができるようになっていたと思っております。</p> <p>その他、今後の状況等も見て、検討できるところなのかなと思っております。</p>
<p>座長</p>	<p>先日、株式会社ジザイめっけさんと連携協定を結ばさせていただいて、「MEQQE (めっけ)」アプリで検索いただくと、この100名鑑に関しまして、そのアプリで対応、地図も含めて掲載しておりますので、多分インターネットとかスマホで2次元バーコードを読んでいただくとそれが出てくるようになってますので、ま</p>

	<p>た、ご活用いただけたらと思います。</p>
K委員	<p>説明を聞いても、正直ちょっとピンとこない。何が一番という と寄附の実績。別紙資料7にありますけど、これ、寄付対象事業 はほとんどF C今治のプロジェクトになってます。</p> <p>これって、この事業に対して寄付をすると募集しているのか、 あるいは今治市に対して寄付金ってあると、なんにでも使ってい いってという寄附もあろうかと思うんですけど、この募集の仕方を 教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>企業版ふるさと納税に関しましては、企業がこういった事業に 寄付をしたい、こういった事業に充ててくださいというような形 で、事業を指定していただいて、申し込みがあった事業に対して 寄付を充てさせていただいて事業を実施するというふうな仕組み になっております。</p>
K委員	<p>そうしたら、今治市の方がこういう事業がありますよっていう 項目があって、それに対して、私はこれに使ってくださいよとい う形式なんでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。そのような形です。</p> <p>地域再生計画に、総合戦略を転記したような事業が記載されて いるんですけども、その中で、企業が申し出していただいた事 業に対してということです。</p> <p>個人版のふるさと納税に関しては、好きなように使ってい きたいってというような寄附の仕方もありますが、企業版に関し ては、そういった指定をしていただくというふうな仕組みになっ ております。</p>
K委員	<p>それとこれを見ると、今治市の企業は、入ってないというか、 東京や大阪が中心ですけど、今治市の企業はないんですか。</p>
事務局	<p>制度として、今治市に本社がない、市外企業が対象になってお ります。</p>
座長	<p>ふるさと納税なりますので、個人も一緒なんですけど、今治 にお住まいの方が今治市にふるさと納税っていうのはできない ってそういうシステムでございます。</p> <p>他にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>そうしましたら、本日いただいたご意見は、評価調書の「外部 有識者による評価」欄に記載させていただきます。</p> <p>議事3、議事4の評価調書につきましては、ご確認いただいた</p>

	<p>後に、市議会にもお示ししたうえで、市のホームページにて公表させていただきます。</p> <p>それでは、会次第でございますとおり、報告の案件「地方創生港整備推進交付金事業の事後評価結果について」に移らせていただきます。内容について、事務局よりご説明します。</p>
事務局	<p>それではご説明します。</p> <p>地方創生港整備交付金事業でございますが、国からの認定を受けました地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」に基づき愛媛県、今治市、上島町が共同で実施するハード整備事業であります。</p> <p>この交付金事業は、目標に掲げる中間目標値等の達成状況及び事業の進捗状況等の検証を行い、必要に応じ認定地域再生計画の見直しを行うとともに、計画期間終了後においては、速やかに事後評価を行い、目標の達成状況について明らかにし、必要に応じてフォローアップなどの取り組みを継続するようになっております。本地域計画におきましても、事業が終了したことから、愛媛県漁業協同組合連合会今治出張所、今治地方観光協会、芸予汽船株式会社といった外部の委員が参画する、「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」検討会において事後評価を実施したものでございます。</p> <p>資料10の「地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調書」は、先に示した検討会の結果に基づいて作成されたものです。当市におきましては、これまで宮窪漁港、小大下漁港、宗方漁港につきまして、浮棧橋の改良などを行い、船舶及び利用者の安全な利用環境の保全を図りました。</p> <p>事後評価における最終目標値の達成状況につきまして報告します。目標の一つである観光交流人口の増加においては、令和2年度に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度時点での実績値を正確に測ることはできませんでした。感染症発生前の令和元年度時点から推測すると、目標値を達成しており概ね効果を発現できていると考えております。</p> <p>一方もうひとつの数値目標でありました漁獲量の維持におきましては、大口の養殖業者の撤退が影響し目標値の達成は困難とな</p>

	<p>ってしまいました。</p> <p>今後も老朽化の著しい浮棧橋の改良等行い、海上交通利用者の安全確保、漁業活動の安定を図るとともに、ひいては愛媛県、上島町と連携しサイクリングの聖地に相応しい景観の確保に貢献したいと考えております。</p> <p>以上が地方創生港整備推進交付金事業の事後評価結果につきましてご報告させていただくものでございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上が報告の案件でございました。それでは全体を通してご質問はございませんか。</p>
L委員	<p>FC今治のところでも、今後増設を計画しているという話を聞いているんですが、今治市として、そのFC今治を推していくのか、文化として何を発信してるのかというのが、重要になってくるのかなと思います。いろんな想定をしながら検討していく必要があるのかなと感じました。</p>
M委員	<p>個人版のふるさと納税なら、ふるさとチョイスとかいろんなサイトがあるんですけど、企業版のふるさと納税の時に、こういった形で、営業というか、今治市の魅力をこういったところに発信して、今後寄付を求めていくのか。寄付をしていただける方っていうとやはり元今治出身の方がどこか別のところで事業を起こしている方、あるいは今治に観光にきて今治がよかったなということで今治の手助けになればとか、いろんな理由があろうかと思いますが、今後今治市としては、こういった形で企業版ふるさと納税を伸ばしていこうと思っているのかというのが気になった点と、もう一つ、個人版ふるさと納税で、私も今治市にいますけど、今治市に寄付をすることは可能なんですよ。することは可能だけれど、返礼品はもらえないということでしょうか。</p>
座長	<p>寄附行為自体は「一般寄附」という形で寄附いただくっていうことは市民の皆さんからも可能なんですけど、ふるさと納税制度っていうことになると、また意味合いが変わってきます。もちろん、当然その返礼品がないですとか、そういった部分はございます。</p>
M委員	<p>今治市の人に寄付金の証明書は発行されるんですか。</p>
座長	<p>寄附をした場合、寄附申し込みいただいたら寄附をいただきましたという寄附の通知書なり、納付書の領収書等々は寄附者の方</p>

	<p>と一緒にお渡ししていると思います。</p>
M委員	<p>ふるさと納税みたいな所、寄附金の証明書はないんですかね。何が言いたいかというと、今治市民でも、ふるさと納税を使われてない方がおられたら、今治市にもし寄附ができるのであれば、その分、国税とか県税にいくんじゃなくて今治市に取り込むことができるので、営業というか発信ができるのかどうかというのを気になっているところがあって、制度としてどうなのかなというのを聞きたいなと一度思っていました。</p>
座長	<p>ふるさと納税はが、都会に住んでいるとか地区地域外の方からいただくという趣旨で国の制度としてやっているの、市民が今お住まいの市に対し寄附するっていう部分とは異なった部分が出てきます。詳細はまた別の機会にでもと思います。</p>
M委員	<p>後半の質問は別として、初めの方の質問に対して、企業版の今後の対策っていうのを教えていただいたらと思います。</p>
座長	<p>企業版に関しましては、例えば関東の愛媛県人会であったり、関西の愛媛県人会であったり、また、それぞれの蛍雪会であったり、いろいろと高校のOB会もございますので、そういったところに、市長をはじめ担当課等が出かけていって今の今治市のPRをさせていただいた上で、東京や大阪にお住まいの企業を運営されてる方たちに、PRをかけてこういった制度、ふるさと納税の制度もあるのという形でお伝えしているのが一点。</p> <p>もう一つは今治にこられて、やっぱりこの景色が気に入ったっていう部分で気に入っていただいた方に、かなり自主的にふるさと納税、例えばしまなみサイクリングをやった後に、その自転車関係のメーカーさんなんか、このサイクリングについてはいいねっていう話があったりすると、そういった部分で物的なもの寄附が結構多いんですけれども、そういった部分でふるさと納税に繋がったりっていう部分はあろうかと思っております。</p>
事務局	<p>先ほどの企業版ふるさと納税を、どういうふうに伸ばしていくか、補足をさせていただきます。</p> <p>今治市でも事業をまとめたパンフレットの作成をして先ほどの県人会だったり、そういったところでご紹介するようなことの取り組みをしております。</p> <p>事業内容をご説明する時に、魅力ある事業ではないんですけど企業さんが関心があるような事業に、そういうような事業を説明もしくは事業を作るのが、大切なのかなと考えております。</p>

	<p>あと、市内に支店がある金融機関、伊予銀行さんと愛媛銀行さんと協力をさせていただいております、銀行さんの業務の中で興味のある市外の企業さんなんかにかかれたときに、ご案内をさせていただいて、そこからお繋ぎいただく、そういった契約もさしてもらっております。そういったのも協力をさせてもらいながら進めている。</p>
<p>座長</p>	<p>以上で本日の議事がすべて終了いたしました。委員の皆さま、長時間にわたりまして、ありがとうございました。 続きます、今後の予定について事務局よりご説明します。</p>
<p>事務局</p>	<p>それではご説明いたします。</p> <p>今後のビジョン懇談会でございますが、第3回のビジョン懇談会を、11月頃に、2つの案件につきましてご協議いただく予定としております。</p> <p>1つ目は、第2期総合戦略の所要の改訂、 2つ目は、第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂についてご説明をさせていただく予定としております。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございました。今後の予定等につきまして、ご質問等ございますか。</p> <p>本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。これをもちまして、令和5年度第2回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を閉会といたします。</p> <p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p>